

近松祭in長門2003「狂言体験教室」

野村萬齋さんが小学生に狂言を指導

狂言を通して、子どもたちに表現することの楽しさを知ってもらおうと、「狂言体験教室」が11月14日、ルネッサながとで開かれ、市内の小学5・6年生約440人が参加しました。

野村萬齋さんが「狂言は礼に始まり礼に終わります」と狂言流のあいさつの仕方を紹介し、狂言の歴史や魅力を解説。萬齋さんから「万作の会」のメンバーによるワークショップでは、14人の児童が舞台上に上り、狂言の動きや話し方



などの指導を受けました。参加した児童は「見るのとやるのでは全然違う」と感想を話していました。

第31回山口県教育県民大会

「みすゞの心」をテーマに開催

「やまぐち教育の日」の11月1日、「教育県民大会」が「市青少年育成大会」も兼ねてルネッサながとで開催され、県内各地区から約700人が参加しました。

大会は「みすゞの心を訪ね、日本の心を発信しよう」をテーマに行われ、仙崎小学校や深川中学校、長門高校の児童、生徒たちがみすゞゆかりの地を訪ねた実践活動を発表。女優の日色ともゑさんによるみすゞの詩の朗読や矢崎節夫さんがコーディネーターを務め、



みすゞの詩を朗読する日色さん

児童文学作家のあまみきみこさんと日色さん、藤井俊彦県教育長による「金子みすゞの世界と日本の21世紀」をテーマにしたシンポジウムなどが開かれました。

青海島健康マラソンを前に
草刈りボランティア

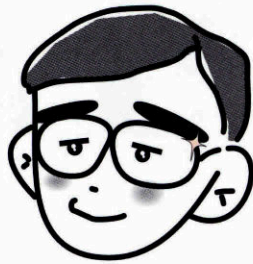
青海島健康マラソンに出場する選手に気持ちよく走ってもらおうと、11月2日、青海地区の住民約20人がボランティアでコースになる農道脇の草を刈りました。



「長門市」の誕生を心から慶びたいと思います。

ながと日記 ばーと41

長門市長 松林正俊



新市の名称

第10回合併協議会で新市の名称が「長門市」に決まりました。これで合併協定基本4項目（合併の方式・新市の事務所の位置・合併の期日・新市の名称）の全てが決定したことになります。

ご承知のように、長門市・三隅町・日置町・油谷町の1市3町は平成17年度までに合併による新しい自治体・まちづくりをめざし、本年1月より法定協議会を設置して協議を重ねてきました。そして、それぞれが対等に合併をして新たな自治体をつくる「新設合併方式」、事務所の位置は「現長門市

役所」とし、「平成17年3月22日をもって新市発足の日」とする、そして新市名称は「長門市」とする、といういわゆる基本4項目が決まったわけです。その中でも、新市名称はそれぞれの立場や感情が交錯し、最も難しい協議課題の一つとされています。

以前この欄で、「伝統地名サミット」のことにふれました。美濃や土佐や薩摩などの旧国名を冠する市町村は、風土や文化や歴史そして人口規模においても多くの共通点をもった地方都市です。今回の合併でこのような伝統地名はかなり減少すると思われれます。日本人の心のふるさとでもある伝統地

名をなんとか残していかなければと、このサミットの初代会長である水谷伊勢市長さんが声を大にして言っておられたことを今思い出します。

これまで「長門市」という名称は、私たち市民にとってもいささか大き過ぎる名前ではありましたが、なんとと言ってもこの地方を代表する歴史と伝統ある地名です。これからは少し身の丈も大きくなります。名前に負けない「いいまちづくり」をしようと新たな決意が生まれます。

全会一致で決定していただいた合併協議会の皆さんや3町の皆さんに感謝申し上げ、新市名称「長



決定した新市名称「長門市」を掲げる4市町長
(第10回合併協議会/10月22日)